

平成28年度事業報告

当協会は、平成28年度において、定款に掲げる目的を達成するため、寄附金、協賛金、賛助金、公益財団法人JKAからの競輪公益資金による補助金、独立行政法人日本スポーツ振興センターからのスポーツ振興くじ助成金等を得て、以下の事業を実施した。

1 ツール・ド・北海道競技会の開催

第30回目を迎えた自転車ステージレース「ツール・ド・北海道2016」は、平成28年9月1日(木)から9月3日(土)までの3日間にわたり、北海道の道央地域(札幌市、倶知安町等関係17市町村)において、タイムトライアル及び一般公道を使用した町から町へと巡るロードレース(総走行距離511km)を実施した。

本大会は、UCI(国際自転車競技連合)公認の国際大会(クラスME2.2)として実施し、海外から5チーム・国内から15チームの計20チーム、選手99名が参加して行われた。

9月1日午前は、第1ステージとして、札幌市豊平区豊平川河川敷地において個人タイムトライアル(1km)を実施した。優勝者は、チーム右京のアベラトゥリ イザガ ジョン。同日午後は、第2ステージとして、札幌市南区のアパホテル&リゾート札幌前をスタートし、小樽市、赤井川村を經由して倶知安町公民館前でフィニッシュする111kmのロードレースを実施した。完走者87名。

9月2日、第3ステージのロードレースは、倶知安町ヒラフスキー場前をスタートし、共和町、蘭越町、ニセコ町、京極町、喜茂別町、真狩村の羊蹄山周辺の町々を巡り、再び倶知安町ヒラフスキー場前でフィニッシュする180kmのコース。完走者78名。

最終日の9月3日、第4ステージのロードレースは、倶知安町ヒラフスキー場前をスタートし、ニセコ町、真狩村、豊浦町、洞爺湖・支笏湖の各湖畔を巡り、札幌市南区真駒内公園でフィニッシュする大会史上最長の219kmのコース。完走者68名。

今大会では、心配された前日までの台風の影響もなく、3日間とも晴天に恵まれて円滑にレースを実施することができた。

ロードレースは、先行グループと追走するメイン集団との巧妙な駆け引きやチームの連携プレイなど白熱したレースが展開され、第2ステージで区間時間賞と山岳賞を制した増田成幸(宇都宮ブリッツェン)を追って、最終日まで上位に僅差のタイムで選手が並び、最後まで優勝者を予断できない緊迫したレース展開となった。

最終表彰式は札幌市で行われ、個人総合時間賞は、増田成幸(宇都宮ブリッツェン)が、日本人選手としては6年ぶりに受賞し、栄誉ある北海道カップを手にした。併せて個人総合山岳賞を受賞。

個人総合ポイント賞は、デネグリ ピエールパオロ(NIPPO-ワイニファンティニ)。

団体総合時間賞は、ブリヂストンアンカーサイクリングチーム。

U26 団体総合時間賞はヴェロクラブ メンドリシオ（スイス）が受賞し、京都産業大学チームも3位と健闘。

今大会では、大きな事故等もなく、コース沿いの地元自治体等から積極的な支援・協力や多くの市民の声援を受けてレースは円滑に展開され、無事に終えることができた。

沿道観衆は、昨年を上回る6万人余。

この3日間・4ステージにわたる白熱したステージレースの様子は、大会開催期間中、新聞各紙に掲載されるとともに、10月6日に、北海道内において特集番組のテレビ放送が行われた（HTB北海道テレビ放送。再放送10月8日。）。

本大会の開催を通じ、参加選手、特に大学生などの若手選手にとって貴重な国際大会の経験を積み、その競技力向上に資する場とすることができた。また、サイクルスポーツの醍醐味を広く一般市民へ伝え、その普及・振興に貢献するとともに、地域における観光・産業等の振興、活性化等にも大いに寄与した。

なお、本大会については、公益財団法人JKAから競輪公益資金による補助金を得て実施した。

2 ツール・ド・北海道による健康・体力の増進のための事業

上記1の競技会と併せ、一般市民の参加による「市民ロードレース大会」を、9月2日に倶知安町等において開催した。大会には、北海道の内外から393人が参加した。

本大会の開催を通じて、国民の健康・体力の増進、サイクルスポーツの普及・振興、地域の振興、活性化等に寄与した。

なお、本大会については、独立行政法人日本スポーツ振興センターからスポーツ振興くじ助成金を得て実施した。

3 サイクルスポーツの普及・振興及び自転車利用の普及・啓発のための事業

定款に定める当協会の目的と同一の目的を有する他のサイクルスポーツ関係のイベントについて、次のとおり協力を行い、サイクルスポーツの普及・振興等に寄与した。

(1) 共催

- ・ 第5回オホーツクロード エンガル サイクルレース（6/18～6/19、遠軽町。）

同大会は、ツール・ド・北海道における地域選抜チーム選手選考大会を兼ねており、実行委員会に参画し運営に協力した。

(2) 後援

次の大会について後援した。

- ① 5/8 第35回道新杯サイクルロードレース（長沼町）
- ② 6/5 The 22th Mt.moiwa hill climb（札幌市）
- ③ 6/19 第16回 HOKKAIDO ママチャリ耐久リレー大会（札幌市）
- ④ 6/26 第4回小平ヒルクライム（小平町、留萌新聞）
- ⑤ 7/3 第5回きじひき高原ヒルクライム（北斗市）
- ⑥ 7/9～7/10 第3回ニセコクラシック UCI グランフォンド（倶知安町）

- ⑦ 7/23～/24 サロベツ 100 マイルロード (豊富町)
- ⑧ 8/6～8/7 第7回ニセコ HANAZONO ヒルクライム (倶知安町)
- ⑨ 8/28 第14回 Sapporo 小・中学生サイクルロードレース (札幌市)
- ⑩ 8/28 第9回モエレ沼タイムトライアル (札幌市)
- ⑪ 8/27～8/28 第3回かみふらの十勝岳ヒルクライム大会 (上富良野町) <中止>
- ⑫ 9/17～9/18 第7回丘のまちびえいセンチュリーライド (美瑛町)
- ⑬ 9/25 第57回札幌市民体育大会サイクルロードレース (札幌市)

4 その他

(1) 理事会

ア 第1回

平成28年5月18日、平成27年度事業報告及び決算等について。

イ 第2回

平成29年3月7日、平成29年度事業計画及び収支予算等について、ツール・ド・北海道2017実施概要について、寄附金等取扱規程の制定、賛助会費規程の一部改正等について。

ウ 書面によるみなし決議

平成28年7月1日、代表理事(会長、理事長)及び業務執行理事(常務理事)の選定について。

(2) 評議員会

ア 平成28年6月15日(定時評議員会)、平成27年度事業報告及び決算等について、評議員の選任について、理事及び監事の選任等について。

イ 平成29年3月22日(臨時評議員会)、平成29年度事業計画、収支予算及び基本財産の取扱いについて、ツール・ド・北海道2017実施概要について、定款及び役員等報酬規程の一部改正等について。

以上